

市長あいさつ



まちづくりの羅針盤とも言うべき、犬山市都市計画マスタープランができあがりました。

上位計画である「第5次犬山市総合計画」(計画期間：平成23年度～平成34年度)や愛知県が定める「尾張都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」(目標年次：平成32年)との整合性を図りつつ、“夢物語”とならないよう極めて現実的な計画となりました。つまり、人口減少や超高齢化、産業構造の変化など社会情勢の動向を的確に把握した上で、持続可能な犬山市の発展を目指し、具体的な施策の方向性を示したものです。

言うまでもなく、当市は、歴史的文化遺産と豊かな自然に恵まれています。さらに魅力あるまちにするには、これまで以上にその特徴を活かしたまちづくりを推し進める必要があります。平成21年3月、犬山市歴史的風致維持向上計画が国から認められましたので、城下町周辺を重点区域とし、市域全体の歴史的資源の活用と保全を図っていく方針です。

このプランの策定にあたっては、市民代表の方も委員として7名加わって頂きました。特に、地域別構想については、地域の代表としての役割を十分果たし、市民の声がより多く反映されたものと確信しています。とても意義深いことだと思っています。

磨けばもっともっと素晴らしいまちになる犬山市。その実現に向けて、この計画を力強く推進してまいります。市民各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成23年3月

犬山市長

田中志典